

宣言者 所在地 秋田市広面字長沼 7-65

名 称 買い物エール

代表者 代表 門間 昭一

買い物エール

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

2025 年には、1947～49 年のベビーブームで生まれた団塊の世代が 75 歳以上になる。5 人に 1 人が 75 歳以上となる超高齢社会を迎える。秋田市郊外だけでなく、中心部でも食料品など生活必需品の買い物に困る高齢者が増えている。このような日常の買い物が困難な状況に置かれている人々（買物弱者）は、秋田県では約 9 万人いると推計されている。（平成 24 年統計）。

秋田市においては、全国に先駆けて超高齢化時代に突入しており、足腰が弱くなってきた高齢者をはじめ、怪我をされて買い物が出来ない人、共働きで時間のない人、育児で外出出来ない人、交通手段のない人は、買い物することに不便を感じている。

＜取組方針等と目指す姿＞

1. 高齢者等への支援

有料ではあるが、日常的な買い物に困難を抱えている高齢者等の買物弱者、交通弱者に対し、生活支援を行う。

2. 安否の確認

1 人のスタッフが同じ家庭を継続して買い物代行をすることを基本としており、家庭訪問の際は、利用者の見守りや孤立防止の目的も兼ねて行う。利用者のわずかな変化に気を配り、安心して暮らせる地域づくりに貢献したい。

3. 社会貢献

買物弱者や交通弱者に対し、「買い物代行サービス事業」を実施して、買い物が出来ない家庭の生活水準を平均水準にまで上げて、生き生きと暮らしやすい地域を目指し、地域住民の福祉向上を図る。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 (※初回記入不要。1 年ごとに要報告) 初回登録年月日：R 4 年 3 月 1 8 日	関連する主な SDGs ゴール (最大 3 つ)
☑経済 ☑社会 □環境	買い物代行支援	高齢者や怪我をされた方、子育て中の方など外出が難しく、買い物に困っている方の力になりたい。	P R 不足、利用者から見ての利用料金の高さなどの理由により買い物代행을希望する方が増えていない。	3 1 0 1 1

☐ 経済 ☒ 社会 ☒ 環境	高齢者の一人暮らしへの支援	一人暮らしで寂しい生活を送っている高齢者に身内のように語りかけたい。 また、高齢者の見守りや孤立の防止にもつなげていきたい。	現在は、一人暮らしの方一人を集中的に支援している。	3 1 0 1 1
☐ 経済 ☒ 社会 ☒ 環境	生き生きと暮らしやすい地域を目指し、安心して暮らせる地域づくりに貢献したい。	買い物に困る高齢者が増えてきている。そのような方たちの支えとなり、生き生きと暮らしやすい地域にしていきたい。	今後もP R 宣伝に注力し利用者を増やしていき、暮らし易い地域づくりに貢献したい。	3 1 0 1 1

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさを守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	